

掘りだそう、自然の力。

Calbee



カルビーグループ決算説明会

2012年4月1日～2012年6月30日

2013年3月期第1四半期決算報告

執行役員 財務經理本部長
菊地 耕一

	2012年3月期 第1四半期	2013年3月期 第1四半期	伸び率	計画比
	百万円	百万円	%	%
売上高	35,690	43,295	+21.3	106.1
売上総利益	14,444	18,801	+30.2	111.9
販売管理費	13,059	15,015	+15.0	102.8
販売費	4,487	5,982	+33.3	106.8
物流費	2,902	2,972	+2.4	98.1
人件費	3,740	3,816	+2.0	97.9
その他	1,928	2,244	+16.4	108.4
営業利益	1,384	3,785	+173.4	172.1
経常利益	1,271	3,596	+182.7	163.5
特別損益	15	△57	—	—
四半期純利益	566	2,073	+265.9	177.2

震災の影響を受けた前年に対し 大幅増収増益

売上高

各カテゴリーとも、大幅増収

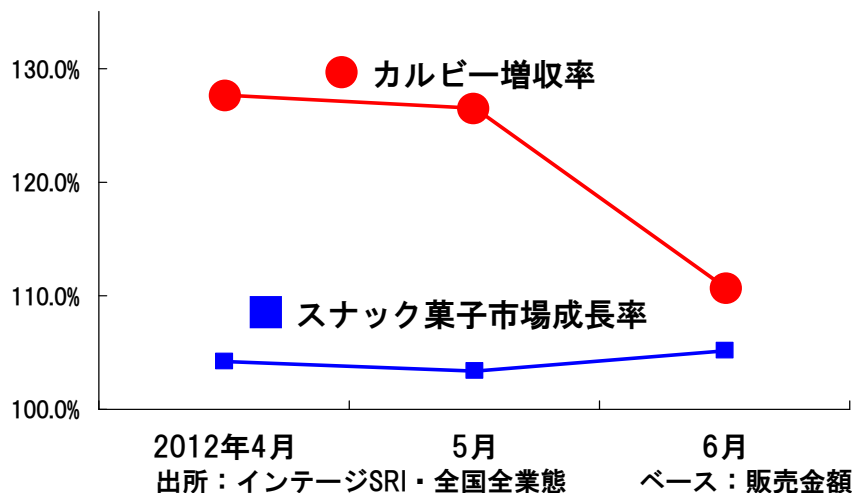
売上総利益

増収による利益増と
コスト・リダクション効果により
2.9ポイント改善

販売管理費

国内シェア拡大のため、
販売費を積極投入

■ 連結売上高 前年同月比



■ 増収要因 製品別

百万円

売上高	増収額
ポテトチップス	+ 1,813
じゃがりこ	+ 1,357
ポテト系スナック計	+ 3,920
小麦系スナック	+ 1,421
海外	+ 750
シリアル食品	+ 907
その他	+ 605

■ ポテト系スナック

ポテトチップス

プロモーション活動強化
期間・地域限定品の積極展開



じゃがりこ

大ヒット製品『たらこバター』を定番化



■ 小麦系スナック

主力の『かっぱえびせん』、
『サッポロポテト』が好調

■ シリアル食品

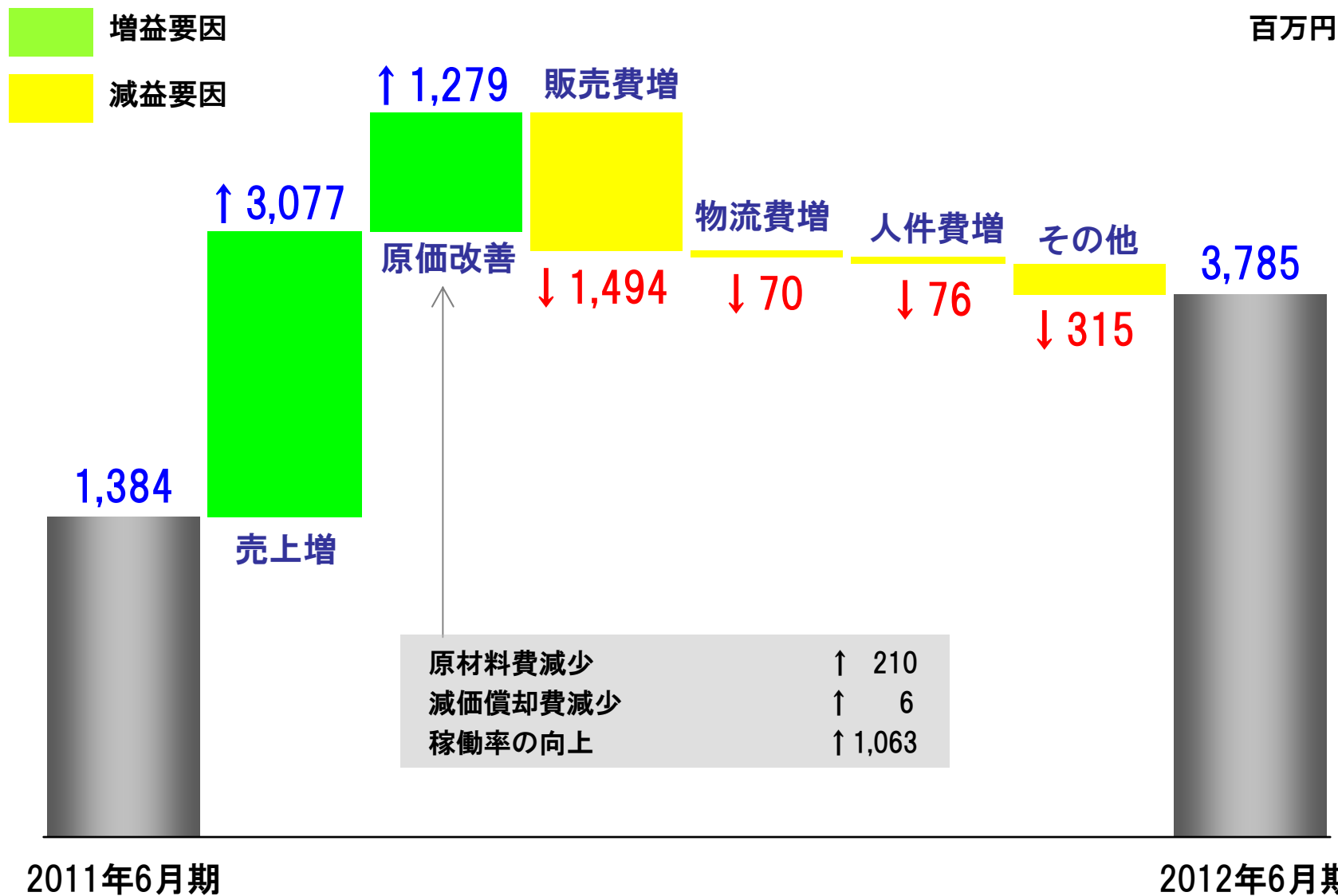
PR活動の強化と取扱店舗数の増加により
『フルグラ』が急進



■ 海外

北米と韓国が寄与

2013年3月期第1四半期 増益要因



2013年3月期 上期見通しの修正

	2012年3月期 上期 実績	2013年3月期 上期 当初計画	伸び率
売上高	百万円 75,985	百万円 82,800	% + 9.0
営業利益	3,893	5,100	+31.0
経常利益	3,499	5,100	+45.7
四半期純利益	1,772	2,750	+55.1



	2013年3月期 上期 修正計画	伸び率
売上高	百万円 85,300	% +12.3
営業利益	6,600	+69.5
経常利益	6,400	+82.9
四半期純利益	3,650	+105.9

計画達成に向けて

執行役員 総合企画・事業開発本部長
江口 聡

成果

■ 国内市場でのシェアアップを達成

- ・ポテトチップスのシェア（2012年3月期）63.2% →（2012年6月期）**64.8%**
- ・スナック菓子市場シェア（2012年3月期）48.9% →（2012年6月期）**49.6%**

■ 売上原価率の低減

- ・売上原価率（計画）58.8% →（実績）**56.6%**

出所：インテージSRI ベース：販売金額・全国全業態 スナック菓子市場シェアはカルビーとジャパンフリトレーの合計
ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュースト・ケトル合算
2012年3月期：2011年4月～2012年3月の累計 2012年6月期：2012年4月～6月の累計

今後の取組み

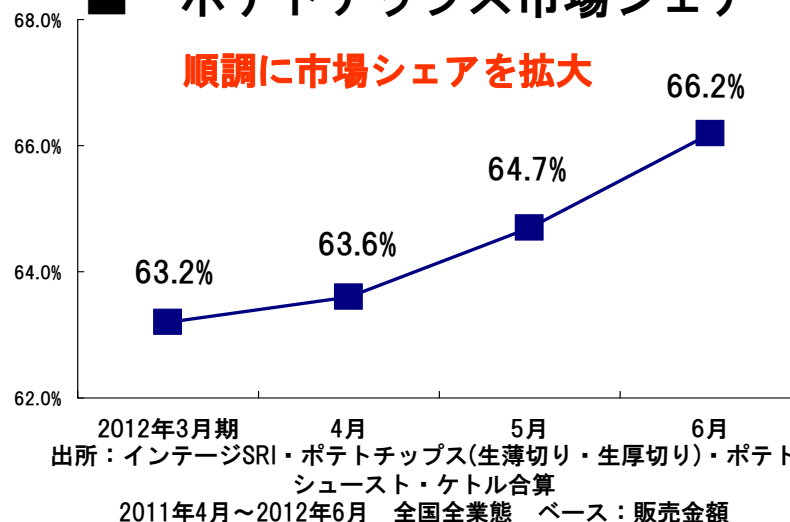
- 積極的なマーケティング施策
新フレーバーの積極展開・キャンペーンの実施
- シリアル食品‘フルグラ’の強化
- 海外戦略の推進
- さらなるコスト・リダクションの推進

■ 新フレーバーの積極展開



6月25日発売 7月2日発売 7月16日発売 7月23日発売

■ ポテトチップス市場シェア



■ カルビーSMILE大収穫祭を開催 (9月～12月)

『北海道のじゃがいも』 3kgと『オリジナルエプロン』を
セットで10万名様にプレゼント

【対象製品】 応募券のついたカルビーと
ジャパンフリトレーの製品



フルグラの強化

シリアル市場のトップブランド

- ・ 戦略PRの強化
- ・ サンプルングの実施
- ・ 販売促進費の積極投下



認識度・店頭配荷率の向上、売上増

コスト・リダクション

- 集中購買とスペック見直しによる原材料費の削減
- 稼働率の向上
- 経費管理の徹底

海外展開の推進

国別売上高

2013年3月期第1四半期

単位：百万円

	金額	伸び率
アメリカ	573	+46.2%
タイ	483	+2.6%
香港	476	+18.2%
韓国	420	-
中国	242	+35.0%
合計	2,196	+51.9%

■ 北米

Snapea Crispが引続き好調

Jagabee生産ラインの建設スタート

■ 中国

2013年1月の販売開始に向けた取組みを実施

参考資料

製品別売上高

百万円

	2012年3月期 第1四半期		2013年3月期 第1四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	伸び率
ポテト系スナック	20,833	58.4%	24,754	57.2%	+18.8%
ポテトチップス	13,077	36.6%	14,890	34.4%	+13.9%
じゃがりこ	5,576	15.6%	6,933	16.0%	+24.3%
Jagabee	1,764	4.9%	2,317	5.4%	+31.3%
小麦系スナック	3,632	10.2%	5,053	11.7%	+39.1%
コーン系スナック	3,599	10.1%	3,458	8.0%	△ 3.9%
ベジツプス等新規スナック	346	1.0%	836	1.9%	+141.6%
海外	1,446	4.1%	2,196	5.1%	+51.9%
その他	610	1.7%	533	1.2%	△ 12.6%
スナック計	30,467	85.4%	36,833	85.1%	+20.9%
ベーカリー	3,354	9.4%	3,497	8.1%	+4.3%
シリアル	1,391	3.9%	2,299	5.3%	+65.3%
その他食品計	4,745	13.3%	5,796	13.4%	+22.1%
役務提供	477	1.3%	665	1.5%	+39.6%
売上高合計	35,690	100.0%	43,295	100.0%	+21.3%

2012年7月31日開催
2013年3月期第1四半期決算説明会での主な質疑応答

Q1 大幅増収となった背景を教えてください。このトレンドはいつまで続くのか？

前期の第1四半期は工場が被災し、期間限定品・地域限定品をほとんど発売することができませんでした。今期の第1四半期は工場が止まることなく、多くの期間限定品・地域限定品を出すことができました。これらの製品が増収に寄与しておりますが、第1四半期は震災の反動により大きな伸び率となりました。お客様の気持ちにフィットした限定品の3ヵ月ごとの発売や Vegips など新製品の強化により、増収トレンドを維持したいと考えています。

Q2 営業利益が計画を15億円上回った要因を教えてください。

売上が計画を上回ったことによる粗利の増加が10億円、原価改善による利益の増加が10億円(稼働率の向上6億円、原材料価格の低下3億円)、一方、販売費は計画を5億円上回ったので、営業利益は計画を15億円上回りました。稼働率は76%で、工場が被災し稼働率の低かった前年同期に比べ12-3%ポイント改善しました。原材料は、食油、シーズニング、包装資材などの価格が計画を下回りました。

Q3 集中購買によるコスト削減効果は？

原材料費減少210百万円は集中購買の効果と原材料価格の下落の合計値になります。厳密なブレイクダウンが困難なので、今回は合計値とさせていただきます。

Q4 販売促進費が前年同期比15億円増加しているが、第2四半期以降の方針は？

売上比13%前後を計画しております。

Q5 業績修正について、上期は上方修正したが、通期は修正していない。下期は下方修正になるということか？

第2四半期は当初計画どおりを見込んでおります。下期も当初計画を達成するべく施策を実行してまいります。

Q6 ポテトチップス市場シェア70%を達成できたら、売上は計画を上回るのではないかと？

マーケットシェアは一部の市場データを使用しておりますので、売上とは完全に連動しておりませんので、売上計画達成とマーケットシェアの目標達成は別々に考えております。今年度中にポテトチップス市場シェア70%の達成を目指しています。

Q7 Jagabee が好調な要因は？

定番品が堅調なことに加え、新フレーバーが好調です。ファミリーパックも夏に向けて非常に好調な動きを示しています。

Q8 中国の売上が増加した要因は？

市場の成長に伴って、売上が増加しました。四洲貿易との合併会社の売上であり、天津、杭州の合併会社の売上ではありません。

Q9 Vegips の全国販売はいつからか？

10月には全国での販売が完了する予定です。

Q10 7月の状況は？

順調に推移しておりますが、月次の売上高情報は開示しておりませんので、具体的な数値につきましては差し控えさせていただきます。

Q11 北米のパートナー候補との交渉は大きな波乱なく、想定通り進んでいるか？

交渉を進めており、現時点で大きな障害はないと考えております。

以上